酒田港湾合同庁舎 増築棟

～災害応急活動拠点としての機能と気候・風土を踏まえた庁舎～

【東北地方整備局　営繕部】

【 設 計 概 要 】

本事業は、災害応急対策活動を行う官署に必要な耐震性能・対津波機能を有する建築物を増築したものです。

（外観・立面計画）

■日本海沿岸部の気候・風土を考慮した庁舎

建物形状は海風の影響を受けにくい凹凸のないシンプルなものとし、夏の日射に遮蔽効果のある庇を各階に設けています。

（空間・断面構成）

■執務環境にふさわしい内部空間

執務室は酒田港をいつでも監視できる海側に配置し、視認性を確保するために連続窓を採用しました。

特に3階の執務室は間仕切り壁のないフレキシブルに活用できる空間構成としました。

■津波対策を考慮した断面計画

１階の床の高さを津波による浸水が想定される高さ以上とすることで対津波機能を確保しました。



[北側から庁舎を望む
（左：増築棟　右：既存庁舎）]



[海側に面した執務室]

所 在 地 ：山形県酒田市

構　　造：鉄骨造
３階建

延べ面積：597㎡

完成年度：令和 7 年度